

2021年4月1日

各位

新入社員に向けた社長メッセージ（要旨）について

当社（社長：大田 勝幸）は、本日実施した新入社員入社式（オンライン）にあたり、当社社長 大田 勝幸の動画メッセージを新入社員に向けて配信しましたので、要旨を下記の通りお知らせいたします。

記

ENEOSへの入社、おめでとうございます。

若さ溢れる皆さん方が入社されるのを、社員一同、心待ちにしていました。

当社は、石油製品・石油化学製品の供給を中心に、電気・ガス・水素・再生可能エネルギーなどの多様なエネルギーや潤滑油・高付加価値機能材などを製造・販売しています。エネルギーは社会のインフラであり、当社製品は長年にわたって、産業から一般家庭まで社会全体を根底から支える役割を果たしてきました。どんなに厳しい環境であっても、その供給を維持することが、今までもこれからも当社の社会的な責任であり使命であると考えています。

会社を取り巻く環境は常に変わってきましたが、今私たちが直面している環境変化は、今までになく大きく、そして速いものです。国内石油需要の減少、エネルギー産業の自由化、環境問題に対する低炭素化などの動き、デジタル革命による社会環境の変化などに加え、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの日常生活における行動や価値観に大きな変化が起こっています。しかも、この変化がどのような形あるいは方向に向かうのか、正確に予測することは大変困難です。

しかし、この変化にしっかりと対応できる企業しか勝ち残っていくことはできません。だからこそ、私たちは、こうした環境変化にスピーディーに、そして柔軟に対応していく必要があるのです。会社自身が大きく変わらなければなりません。

ENEOSグループでは、「低炭素・循環型社会の到来」「デジタル革命の進展」「ライフスタイルの変化」を前提とした2040年に向けた長期ビジョンを作成していますが、ビジョンや事業計画を描くことそのものが目的ではありません。それを実現し、広めていくことで豊かな生活を社会に提供することが目的であり、その実現の力となるのは、今日から仲間として一緒に働く皆さんを含めた、社員一人ひとりの発想や情熱です。将来を正しく予測することが大変難しい中、生き残り、世の中の役に立ち続けるためには、社会の変化に対応し、あるいは先取りし、私たちも常に変化し続けることが最も重要なことです。それはすなわち、挑戦です。

会社が変わり続けるためには、幅広くアンテナを張って変化をとらえる柔軟性と、未来を作り出す意欲と挑戦する気持ちを持った社員が必要です。皆さんのような若い世代の人にこそ、その力があると思いますし、会社もそれを大いに期待しています。皆さんが挑戦の気概を持って、何にでも積極的に取り組むことが、自身を磨き、会社を変える力になると思います。そして、もう一つ大切なことは、対話の力です。まず、対話を通じて様々な気づきや学びが生まれ、それが個人の成長につながると考えています。ぜひ皆さんにも対話を重ねて多くの学びを得ていただきたいと思います。また、対話を重ねることで個人の力がより大きく組織の力となり、実現性が高まります。

次に、心にとどめておいてほしいこととして、「一見すると相反すると思われる2つのことを、同時にうまく実現すること」という心構えについてお話しします。例えば、会社の経営にあたっては、「今のビジネスを大切に利益を出すこと」と「将来に向けた準備・投資をする」必要があります。皆さんにも、一見相反するように見える2つのことを、上手く実現して欲しいと思います。「仕事の仕方」についても大きく2つの側面があります。新入社員の皆さんが、先輩社員や上司から任される仕事の中には単純な仕事もあるでしょう。まずどんな仕事でも誠実にコツコツやること。こういうことの積み重ねから信頼が生まれ、より重要な仕事が任されるようになります。一方で、その仕事の意味を考え、何か付加価値をつける工夫をすることも大切です。単純な仕事でも、その意味を考え、もっとうまくできる工夫の余地がないか考えながら仕事をする人と、言われたまま、何も考えないで仕事をする人とは、将来大きな差になっていきます。

最後に、私自身の長い会社経験の中で、強く感じていることを2点お伝えします。まず、多くの経験が力になると信じ、拒否せず受け入れてまずやってみることが大事ということ。そして、自分の力を最大限に発揮するためには、健康管理・自己管理が大切だということです。新入社員の皆さんの若さと元気が会社の活力になりますので、その若いエネルギーを、この会社に届けていただくことを大いに期待しています。

以上

<参考> 2021年度新入社員数 ()内は昨年度実績

大学院・大学卒社員	144	(154)
事務系	66	(67)
技術系	78	(87)
高専卒等社員	90	(74)
高校卒社員	175	(183)
合計	409	(411)